



2020(令和 2)年度事業報告書

2020.1月1日～12月31日

特定非営利活動法人 マニラ育英会

1. 事業内容

- (1) フィリピン・マニラ首都圏及び周辺部の就学環境の調査及び支援、整備
- (2) 日本の協力者の募集
- (3) 特定非営利活動に係る事業の普及、啓発、人材育成

2. 就学支援事業の実施状況報告

- (1) の「就学支援」にあたり、マニラ側の業務提携法人 I.W.A(IKUEKAI WELFARE ASSOCIATION INC.) から新規スカラー25名が推薦され受け入れた。それによりスカラー総数は 297名となった。

教育里親事業が実施されている学校とエリア、規模について（就学支援実態）

(2020年度12月31日現在)

分類	地域名	主なる学校	受益対象小学生/ハイスクール生の数
A/AH	マニラ市 サンファン地区	サラバン小学校、サンファン小学校 及び両校出身ハイスクール学生	小学生 5名(前年比+3名) ハイスクール 21名(同数)
C	ラスピニャス市	パンプロナ小学校 (2018～)	小学生 10名 (同数)
D/DH	ラスピニャス市	ドナ・マニュエラ小学校卒業 HS ムーンウォーク小学校 (2018～)	小学生 6名(前年比+1名) ハイスクール 6名(同数)
F/FH	ラスピニャス市	ダニエルファハルド小学校、 ラスピニャス国立ハイスクール他	小学生 8名 (前年比-7名) ハイスクール名 61名 (前年比-同数)
M/MH	ラスピニャス市	マヌヨ小学校/HS ラスピニャス国立ハイスクール他	小学生 10名(前年比-6名) ハイスクール 47名(+2名)
L/LH	マニラ市パコ地区	ルクバン小学校、卒業生	小学生 3名(前年度同数) ハイスクール 16名(-5)
O/OH	マカティ及び郡部 カビテ州スラム	中心部と郡部の小学校と HS 学生	小学生 4名 (前年度同数) ハイスクール 11名(-3名)
P/PH	マニラ市パサイ	国立フィリピン聾学校初等部/高等部	初等部 14名(前年比-8名) 高等部 41名(前年度比+4名)
S/SH	マニラ市 サンファン地区	サンタアナ小学校、卒業生	小学生 2名(前年比-1名) ハイスクール 19名(前年度比-4)
RH	マニラ市	ラファエルパルマ卒業生	ハイスクール 1名(前年比-2)
TH	トンド地区	ドンボスコテクニカルスクール等	ハイスクール 0名 (前年比-1名)
V/VH	サンタメサ地区	マザーマダレナ教育財団 (教会)	ハイスクール 12名(前年比-1名)

教育支援スカラー数 297名 (前年比-33名) うち小学生 62名 ハイスクール生 235名

2020 教育里親事業における奨学金と委託費及び寄附金の送金実績

	金額	明細	備考
5月22日	1,950,000円	6,500円(奨学金5,000円+委託費1,500円)×300人 前期奨学金2,270P	前期奨学金+委託費
6月18日	200,000円	50,000円×4名 (大学生スカラーへの奨学金)	奨学金
8月17日	1,300,000円	スカラー在籍校への上質紙50,000枚×6校、タブレット×70台	個人からの寄付
10月2日	85,826円	新型コロナウイルス感染防止キット×297(消毒スプレー、マスク、シールド)	教会募金の寄付
10月20日	6,192円	I.W.A. 活動への寄附	八幡平サークル
10月20日	1,930,500円	6,500円(奨学金5,000円+委託費1,500円)×297名 後期奨学金2,250P	後期奨学金+委託費
計	5,472,518円		

(1) 日本の協力者(スポンサー&寄附者)の状況について

2020年12月時点での教育里子数297名に対して、1対1寄附支援のスポンサー数はのべ**295名**である。

1対1支援が減少傾向にあり、その分を寄附によりまかなっている状態である。

3月卒業予定の12年生は46名(昨年度比+12)

会費未入金のまま退会したスポンサー会員は、6名である。

卒業させて再度新規の支援に戻ったスポンサーが16名、退会と思われる人(住所不明)24名

今年度入会した新規スポンサーの数 8名

(2) 就学環境の整備と支援について

事業地マニラ首都圏では、新型コロナウイルス感染対策として3月中旬から、地域防疫措置(封鎖)がとられ、学校はすべて休校となった。20才未満の子どもは外出禁止となり、やっとモジュール学習(家庭学習)に切り替えて授業が再開されたのは、10月第1週であった。当会支援対象の家庭ではPC(携帯)を持っていない場合もある。更にWiFi環境が整わない環境のもとで、家で親が教えるというやり方には不安と不満があるという。私立学校では一斉にリモート学習に舵が切られるなか、公立学校との教育格差が広がっている。その支援としてI.W.A.(現地法人)の活動に述べる事業を行った(3の③参照)

(3) 特定非営利活動に係る事業の普及、啓発、人材育成

1. スポンサーツアー2020の開催

① 2020年1月9日~13日(4泊5日) 参加者14名(ニュースレターにて報告)

成果—メインの事業地マニラ首都圏南ラスピニャス教育委員会と4つの学校との「教育連携協定書」が締結され、盛大なセレモニーを経て、今後の交流基盤が確固となった。

② 2020年2月2日 ツアー報告会 岩手県情報交流センターアイーナ6Fにて報告会開催。

2. 認定法人格の取得、認証式

3月16日、県庁にて「交付式」が行われた。出席;岩根代表、高橋副代表、横山、八木高橋(健)、草間、川村(育英会ユース3名)3月5日より税控除が受けられる事となった。

3.その他

①スポンサーとスカラーの交流 — 奨学金領収証、手紙

(I.W.A. 取扱分) 里子から 合計 506 通 (2021, 2月10日現在)

(マニラ育英会取扱分) 里親から 合計 4回 96通

②育英会ユースによる活動

新会員募集 (5月) 岩手県立大学にて 会員 約7名 (2020年12月末日まで)

翻訳活動 スカラーからの手紙の翻訳 年間 5回

③業務提携法人 I.W.A.(マニラ側国際教育里子事業受入れ団体)の活動状況

新型コロナウイルス感染者数が3月上旬から増加したため、政府が即ロックダウン措置をとった。ラスピニャス事務所も閉鎖。奨学金配付が学校できなくなったため、保護者が事務所に受取りに来る、または振り込み&手紙や領収証は郵送という方法で行っている。また、現地教育支援として送金した寄附金により、関係各学校よりリクエストのあった「上質紙」(在宅学習教材プリント用)を、10箱(5,000枚×10)と、タブレット70台を購入し、役員&事務局が、関係6校に寄贈した。また、感染防止セット(マスク、シールド、消毒液)を、全員に配布するのに尽力してもらった。

④盛岡市の助成金事業への参加

1. もりおかインターンバイトプロジェクト助成金事業 2020年9月17日~2021年2月末日まで
県立大学の学生4名を雇用。賃金は立替払後、市の経済企画部に申請して振り込まれる。
総額413,000円の助成金を受領予定。
2. 新型コロナ感染症予防対策事業費補助金(岩手県よりNPO法人対象) 2020年1月31日まで
サーキュレーター1台、体温計、アルコール消毒液、マスク等22,825円を申請中。

⑤会議

定例総会 2月21日(木) クリエイトビル 会議室 盛岡市大通3-1-23

第1回理事会 同日 総会終了後

第2回理事会 7月30日(木) クリエイトビル 会議室 同上

第3回理事会 12月23日(水) クリエイトビル 会議室 同上

4. ①から③の事業について、コロナ禍により催行中止とし、後年度において再考するものとする。

①育英会創立30周年記念事業 (記念式典、マニラから3名招へい) 記念誌作成

②第5回育英会ユースのスタディツアー

③ フィリピンチャリティコンサート